

お金がないなら 仕事に行くな

Don't cash your precious life.

コンセプトプロデューサー

オウンドメディア集客コンサルタント

片山真一
Katayama Shinichi



子育てしながら月収200万円!
集客メディアアライアント多数!
僕はただ「子育てをする時間」と「時々旅行を楽しめる程度のお金」がほしかっただけ。

家族、恋人、自分自身。大切な人を犠牲にしない、お金と時間の掴み方

ホームレスサラリーマンだった僕が年収2000万円を達成した、たった1つの『人生やり直し戦略』

はじめに

26歳の春、僕は突然ホームレスになりました。

就職4ヶ月のことでした。

事の発端は、僕が異例のスピード出世してしまったこと。なんと、僕は全国展開をしている創業40年以上もの歴史をもつ家庭教師会社で最速となる、たった4ヶ月で研修社員から一気に支店長になつたのです。

「それでなんでホームレスになるんだよ！」

「出世したんだからよかつたじやん！」

そう思うのも無理はありません。なにより、僕が一番そう思いましたから。

でも、現実は違いました。

地元静岡から遠く離れた、縁もゆかりもない京都支店の支店長になつた僕に用意されていたのは、たつた1万円の支店長手当と、『支店長』という肩書と重い責任だけ。こうして僕は支店長となつたこの日から何年もの間、大量のサービス残業を強いられるようになつたのです。

毎月200時間もの時間と労働力を、たつた1万円の支店長手当と引き換えに・・・。

お給料が少ない上に、一年目なのでボーナスもなく（さすがにこれでは生活できない）と感じました。だから上司に「アパートを借りようにも給料が安すぎで借りりません。転勤で住むところがなくなつたんで、住宅手当くらい出ると思つてたんですが・・・」と伝えたたら、「それなら京都で結果出せ。金がないなら事務所に住ませてやる」と、今考えれば完全ブラックな対応で納得させられました。

それから、必死で働きました。

まともな生活がしたい。付き合っている彼女と結婚して不自由のない生活をさせてあげたい。その一心で必死で働き、周りの、所謂仕事ができる人の2倍の成果を出し続けました。

「数字だ！ 結果だ！」 と言う会社の上層部に、圧倒的な結果を見せ続けました。

ただ、住む場所が欲しかつた。

大切な人を幸せにしたかつた。

好きな読書に時間を使いたかつた。

旅行に行きたかつた。

人生を・・諦めたくなかつた。

副業を探しました。

でも、いくら成果を上げても、上がつていつたのは役職だけ。相変わらずの安月給に、藁にもすがる思いで

ネットで副業を探してみると、毎月200時間もサービス残業をしているにもかかわらずアパートすら借りられない僕のようなサラリーマンがいる一方で、なんと、ほとんどお金を使わず、しかも時間も使わずに、僕の何倍も収入のある同世代の人達がいることを知りました。

パソコン1台あれば場所も時間も関係なく、好きな時間に好きな場所で仕事ができる。お気に入りのカフェ、旅行先のホテルでリラックスしながら、まるで趣味を楽しむように。

インターネットビジネスと言うらしい。

（こんな事ありえるのか？）

（よくあるネットワークビジネスか？）

と疑いました。意味がわからなかつた。

でも、このままでは満足する人生など送れないという危機感と、そんな夢のような生活への憧れが、僕の足をインターネットビジネスの世界へと踏み出させたのでした。

いざインターネットビジネスをやつてみると、自分の下に会員を増やして権利収入を得るような、所謂ねずみ講のようなネットワークビジネスとは別物だということが分かりました。

別物どころか、普通のお店が人海戦術でやつてている部分を、できるだけインターネットの便利なサービスを

使つてやつてているだけの、真つ当な副業方法でした。例えば、昔ながらのお店が、お金を出して郵送でDMを送るところを、無料のメールで送るなど、そういう事をやつてているだけだつたのです。

(インターネットビジネスというのは、王道ビジネスの効率を上げているだけなんだ
と気がつきました。)

(これならお金も時間もほとんどかからないはずだ
と、チャレンジしてみたのです。)

副業でインターネットビジネスをはじめてみると、徐々に収入が増えていきました。そしてインターネットビジネスで本当に月100万円以上の収入が入つてくるようになつたのです。

僕の年収はサラリーマン時代の夢だつた1000万円を、ネットビジネスをはじめて2年目に越えました。

そんな環境を作れたおかげで、かつては住む部屋もなく、事務所で寝起きするホームレスサラリーマンだつた僕が、この1年だけでも、グアム、マレーシア、香港、マカオ、沖縄、京都、神戸と好きな場所に旅行に行

き、妻と、2人の息子たちの子育てを楽しめるようになれました。

この環境になれたのは、サラリーマンのように時間の切り売りをするスタイルに見切りをつけ、自動で収益が入る仕組みを作れたから。その方法を正しく学び、実践したからです。

ホームレスサラリーマンだつた僕がどのように今の生活を手に入れられたのか、これからお伝えしていきたいと思います。僕の経験が、あなたの人生をより理想に近づける一助となれば幸いです。

目次

はじめに

第1章 祖母の介護をするために、東南アジアを放浪

- ・ フィリピンで一文無しに

第2章 ホームレスサラリーマン

- ・ ホームレスサラリーマン
- ・ 大好きな祖母の死
- ・ 学歴差別
- ・ 28歳は賞味期限切れ？

・座薬クライシス

- ・看護婦さんに座薬を挿れられ

・子供ができたら『転勤命令』

第3章 反撃の狼煙

- ・反撃の下準備
- ・2つの選択肢
- ・月収100万円

第4章 「お金があつたら幸せ」は嘘

- ・お金があつても不幸な人達
- ・幸せな人生をおくる方法

あとがき

付録 全体のまとめ

著者紹介

第1章 祖母の介護をするために、 東南アジアを放浪？

フィリピンで一文無しに

ホームレスサラリーマンになる時点から遡ること5ヶ月。その頃、僕は東南アジアからデザイン輸入をしようと、マレーシア、シンガポールと放浪し、フィリピンに滞在していました。才能はあつても世に出ていないデザイナーを探していました。

後悔する人生だけは嫌だったので、

「自分の人生は自分で決め、大切な人を大切にできる人生にしよう！」

と考え、それには起業することが一番だと言う結論に達してのことでした。

一番にこだわったのは、場所も時間も選ばない在宅企業であること。

なぜなら、半分寝たきりになつてしまつた祖母の介護をしたかつたからです。

祖母は、15歳で母を亡くして孤児になつた僕の生活の世話を長年してくれたのです。

食事、洗濯など生活の全ての世話をして僕を育ててくれました。だから、恩返しをしたかつた。

在宅で仕事ができれば、いつでも祖母のベッドの横にいて、食事をあげたり、トイレに立たせてあげたり、祖母が困ることのないような環境を作つてあげられると思ったのです。そのためにはPC一つあればどこにいてもできる仕事が理想的でした。

僕は今でこそ、月間100万や200万アクセスのサイト等を運営し、何もしなくても自動でサラリーマン時代の何倍もの収益が入つてくる仕組みを作り上げていますが、その頃は当然そのような知識はありません。その頃をつけたのが、小物や雑貨のような物理的な商品ではなく、データでやり取りできるデザインの輸入

だつたのです。

これが上手く行けば、祖母がベッドから僕の名前を呼んでくれれば、すぐに祖母の背中を抱えて抱き起こしてあげられます。

お茶やみかんも、いつでも持つていつてあげられます。

体調に異変が起きたらすぐに気がついて、大事になる前に対応することもできるのです。

でも、僕の想いとは裏腹に、首都マニラで僕の夢を打ち碎く事件が起きました。

その日、一人でマニラ観光をしていた僕はたまたま写真を撮つてくれたフイリピン人カツプルと仲良くなり、そのまま彼らの家に泊めてもらえることになりました。

後から考えればたまたまではないこの出会いが、地獄への入り口でした・・。

家に行くと、カツプルのお父さん、お母さん、友達、3歳くらいのかわいい女の子がいて、家族同然に親切してくれ、一緒にご飯を食べ、お酒を飲み、楽しい夜を過ごしました。

次の日から数日間、旅行に行くことだつたので、僕も一緒に行くことになりました。

本当にいい人たちだつたんですよ。女の子なんて、移動中の車の中ではいつも僕の膝の上にいてめちゃくちゃなついていたんです。

そして数日後・・・

車で移動中、用を足したくなつたので、その事を彼らに伝えると、ガソリンスタンドによつてくれました。一人でガソリンスタンドのトイレに入り、元いた場所に戻つてみると・・・

・・そこには誰もいませんでした。荷物も一緒に・・。

なんと僕は、フィリピンの見知らぬ土地で、ほとんど一文無しになつてしまつたのです。

（どうしよう・・・。どこいった？）

（だいたい、ここはどこだよ？）

慌てて身につけているものを確認すると、幸いパスポートと2、3日生活できるくらいのお金がありました。

（よかつた。とりあえず死なずにすむ）

（宿をとつて、今後のことを考えよう）

ポケットにあつたお金でジプシーという名のバスにのつて、何とかマニラまで戻り、マニラの中でも最安値の宿をとつて今後のことを見計らいました。

でも、出てくるのは後悔ばかり。

（何も悪いことをしてないのに、なんでこんな目に遭わなきやならないんだ！）

（異国の知らない人を信用するなんて、バカだ俺は）

一日中、そんな言葉が頭の中をぐるぐる回っていました。

(このまま何の成果も得られず日本に帰るのは嫌だ)

(でも、お金もない。ここからフイリピンで一人で踏ん張る気力なんて、もうないよ)

水しか出ないシャワーを浴びていると、自分の惨めさに涙が溢れました。夜、ドミトリーベッドで横になっていても自然と涙が流れてくるのです。

(帰りたくない。諦めたくない)

(俺はあちゃんのそばで仕事をするんだ・・)

でも、夢だけでどうにかなるほど現実は甘くありません。

(一旦日本に帰つて、体制を立て直そう)

そうして、宿泊先から日本にいる彼女に連絡をして、帰国のチケットを取つてもらう事でなんとか日本に帰れることになつたのでした。

第1章まとめ

- ・きっかけは、祖母の介護をしたかつたこと
- ・データのやりとりなら、場所も時間も選ばずに仕事ができる

第2章 ホームレスサラリーマン

ホームレスサラリーマン

日本に帰ると、目標を失い布団にくるまるだけの無気力状態が続きました。何もできずに帰国した自分が恥ずかしかったのもあります。

1ヶ月近く一歩も外に出られず、布団の中でダラダラ過ごす日々。

無職の26歳。

（これから何をしたらいいんだろう）

と焦りだけが募っていました。

悩んでいると、丁度、学生時代にアルバイトをしていた家庭教師会社の支店長から電話がきました。

オリラジあつちゃんにそつくりの仲田支店長から。

仲田さん 「真一君、仕事は順調?」

僕 「いや、それが・・・」

事情を話すと、仲田さんが丁度人手がほしいから働かないかと誘つてくれました。

仲田さん 「うちの会社で働く?」

(このままではダメだ)

(とにかく何かをしなければいけない)

と思っていた僕は、

(これも何かのご縁なのかもしれない)

と思い、就職して実家から片道1時間の静岡の支店で働き始めました。

祖母や彼女にこれ以上心配をかけるわけにもいきませんでした。

だから、

（泣き言を言つてもしようがない）

（人はいつだつてやり直せる！）

と、祖母の介護は祖父に任せ、僕は初日から一生懸命働きました。

家庭教師会社とは言つても実質は営業会社です。

残業代は出ませんでしたが仲田さんからは

「成果を出せば給料50万でも100万でも支払われるようになる」

と言わっていました。

月収100万円で嬉しいですよね。年収1000万円はサラリーマンとして一つの目標にしていましたし、祖母に大きな医療費が必要になつたときも、お金に糸目をつけずに支払うことができます。

それに、僕には幸せにしたい彼女がいたのです。

そうです、前述の、フィリピンから日本に変える航空券を手配してくれた彼女です。

付き合い始めた時は19歳だった彼女も、結婚適齢期と言われる年齢になっていました。結婚して子供を二人産むのが彼女の夢でした。

だから、僕はここで出世して、安心して生活できる環境を作つて、彼女の夢を叶えてあげたかつた。今思えば彼女の夢はいつしか、僕たちの夢になつていたのです。

大切な2人の女性のために必死でした。

朝、目が覚めると、身支度と軽めの食事をして片道1時間の会社に向かい、午後3時頃になつたら静岡の中心から車で2、3時間かけて西は浜松や県外の愛知まで、東は伊豆まで、多い時は平日でも3件も営業に行きました。

6時頃、生徒とお母さんお父さんと1件目の面談を始めて2件目が終わる頃には夜の10時。帰りにセブンイレブンでコーヒーを買い「ふう」と一息つきながら夜空の星を眺めたものです。

そして、帰宅途中のファミレスで営業処理をして、実家につくのはいつも午前の1時2時でした。くたくたになつた体でシャワーを浴びてそのまま就寝・・・。

次の日は起きたら直ぐに出勤。プライベートなんて皆無でした。

普通はこんな毎日、大変だと思うかもしれません。でも、僕は充実感で満たされていたんです。

（早く結果を出して、早く祖母を安心させてあげたい！）

（彼女との夢も叶えられる！）

精一杯働いていると、出世をして「俺やつたつた～～！」ってなる日にグイグイ近づいてる感覚しかなかつたのです。

3ヶ月猛烈に働き続けて迎えた4月。新年度の幕開けですね。前々から京都に新支店を立ち上げる話があつたのですが、その京都の支店長に僕が任命されました。

必死で掴んだ支店長の座です。嬉しいに決まっています。

でも、僕の中には複雑でした……。

（支店長は嬉しいけど京都か・・）

（おばあちゃんとも彼女とも離れ離れになつてしまふよ）

そんな気持ちでしたが、

（祖父も元気で介護してくれているし、彼女との結婚も近づくし、サラリーマンをやつている以上、そもそも『断る』という選択肢はないし、引き受けよう）

と京都に行くことになりました。

ただ、支店長になつたところで得られたものは、たつた1万円の役職手当だけ。家を出たことで住む場所が必要になりましたが、なぜか住宅手当は1円ももらえませんでした。

でも、給料が安すぎて、京都でアパートを借りてしまうと、まともな生活ができません。

それを仲田さんに伝えると、

「事務所に住めよ」

と一言。

それをきっかけとして、僕はホームレスサラリーマンになつたのです。

しかも、役職手当1万円がつけられることで【合法的にいくらでもサービス残業させられる券】を会社に差し出す結果となつてしまつたのです。こうして、毎月200時間サービス残業生活が始まりました。

大好きな祖母の死

部長や専務などの上役は、気力のない定年待ちのおじさんばかり。そんな中、僕の働きは際立っていたのでしょう。

京都の支店長になつて1ヶ月後に

「静岡支店もみてくれ」

と上司から相談がありました。

いつもの業務に加えて毎週、静岡→京都を片道3、4時間かけて往復することは、肉体的にかなり大変ですが、祖母にも彼女にも定期的に会えるようになることが嬉しくて、引き受けることにしました。

それに、これは出世ですから、またまた目標に一歩近づけるわけです。

「大切な人をしつかり大切にできる未来」に向かつて進んでいる実感が、僕の背中を押してくれていました。

でも、このころの僕は今のように世の中の仕組みがわかつておらず、頑張れば必ず報われるとただ盲信するだけの世間知らずだつたのです。

そして、あの日がやつてきてしまうのです。

・・2つの支店長になつてすぐ、世間がGWで賑わつてゐる頃、祖母が肺炎で入院しまつたのです。丁度静岡にいた僕は、その時ばかりは仕事をさつさと切り上げて毎日祖母のお見舞いにいきました。

祖母の手をギュッと握り

「おばあちゃん、会いに來たよ」

と話しかけると、祖母もかすれた声で、

「真かい。あんた、京都いつたんじやなかと？」

と答えてくれていました。

でも、2日目、3日目と日を追う毎に弱つていき、5月6日、明日には京都に戻らないといけなかつた最後の日に、小さな体でずっと僕を支え続けてくれた祖母は静かに息を引き取つたのです。

寂しかつた。

恩返しをする時間が欲しかつた。

（確かにサラリーマンになつて出世はできた。それでおばあちゃんも安心したかも知れない）

（でも・・大好きなおばあちゃんと一緒にいられないんじや意味ないよ！）

（大切な人と一緒にいられないんじや、いくら出世しても、いくら稼げたとしても、意味がない！）

自分の無力さを痛感しました。

そして僕は考え方をしてしまつたのです。

（もつと出世して、時間にとお金に余裕がある環境を作ろう！）

それから、これ以上ないほどに働き、立ち上げたばかりの支店を大きくしていくのは、刺激的で充実した毎

日でした。

なので朝の9時～夜中の2時を毎日続けました。

寝ても覚めても仕事仕事仕事。寝起きしている場所が事務所ですから無駄な時間は一切なく仕事仕事仕事でした。

事務員さんに、僕が事務所に住んでいるとはバレないようにするのには神経を使いました。

そんな感じだつたので夏までの4ヶ月間で他の支店が一年で集める生徒数を集める事ができました。
なかなかできのいい社員ですよね。（自分で言つちやいますが）

（ボーナスいくらになっちゃうんだろう？）

期待に胸膨らませて給与明細を開いてみると・・・

いくらだつたと思いますか？

その額なんと・・・！？！

・・・0円（；ー；）

（なんじやこりや？？）

（ボーナスなし？）

（嘘でしょ？）

全然納得できませんでした。だから直属の上司の仲田さんに

「こんなに成果出してるのになんでボーナス0円なんですか？ 納得できません」

・・と、言えたなら、後で悲惨な思いをせずにすんだのかも知れません。でも、当時の僕にはそんな事を言う勇気はありませんでした。

そんな事を言つてしまつたら、評価が下がるかも知れない。

社内での評価が下がるという事は、出世にも昇給にも響く。

それはつまり、人生のクオリティが下がるということです。

彼女との結婚も遠ざかる。結婚してもお金がなくて、家族に我慢ばかりさせるかもしれない。旅行にいつても安いホテルにしか泊まらず、趣味を楽しむこともできなくなるという事。だから納得するしかありませんでした。

（んぐ・ぐ・でも入つたばかりだからこんな感じなのかな?）

（冬のボーナスの方が夏よりいっぱい貰えると言うし）

と、自分の感情に鈍感になるしかありませんでした。

それに、夏のボーナス0円の後に社長が京都に来て、

「真一君すごいね。この調子でグングンやつていこう。夏のボーナスなかつたけど、冬は期待してくれ」
つて言つてくれたのもあります。

だから、

「はい！ 頑張ります！」

と、相変わらずと猛烈に働いて12月までの4ヶ月で他の支店が一年で集める生徒数をまた集めました。

4月～11月までの8ヶ月で生徒数250名。既に2年分の成果を上げたのです。

流石にここまでやつたので、冬のボーナスは凄いことになつてました。

なんと今回はボーナス用の給与明細まで受け取つてしまふほど。僕が全国の他支店を圧倒的に突き放して出した成果が反映されたボーナス。

その額はなんと！？！

・・・・・

・・・・・

7万円！？！

（これだけ？）

70万円じゃないですよ？

たつたの、7万円です。これだけやつてたつたの7万円・・・。

給与明細に向かつて

「なんでやねん！×100」

とひたすらツッコミを入れたのは言うまでもありません。

ただ、他にできることのない僕は（入社1年目だしこんなもんなのかな？）と無理矢理自分を納得させ、さ

らに仕事に熱を上げていったのです。「きっと4月の昇級がやばいことになるのだろう」と期待して。

だつて仲田さんは

「成果を出せば月給100万円も可能」

と言つていたんですから。

かなりの成果を上げている自負もありましたし、安月給であり続けるはずがありません。

そして年度の変わった4月。実際この時の昇給額はかなりのものでした。

昇給額・・なんと1万円!!!! ドン!!!!

(ビツツツクリ~~~~!!)

一年間ほとんど休みなしで毎日18時間働いて・・昇級なんと1万円 (; _ ;)

(アンビリーバボー!!!!)

休日手当なし、残業手当なしで毎日朝から晩まで月1回休むか休まいかで働いて・・

・・昇級たつたの1万円。1日に換算すると300円ちょい。

ちなみに残業時間は1日10時間なので、時給約30円。

しかも・・・年上だけど後輩の井上（ノンスタ井上似）が僕と違つて会社から住宅手当をもらい、家賃10万円以上のマンションに住んでいる。

（な・・・なんだこの現実は・・・）

（なんだこの差別は・・・）

（いや、年上でも後輩でも僕以上の成果を上げているのならそれはいい）

（ただ・・・俺のが圧倒的に成果あげてんじやね〜〜〜かああああ！！！）

（ざひざざざざざざけんな〜〜〜〜〜〜〜〜！！！）

仲田さんを信じて、会社を信じて

「一生懸命働けば報われる」

と全ての時間を無駄にして、ホームレスにまでなつて誠心誠意働いてきた僕も流石に鈍感ではいられませんでした。

（おかしいだろこれ！！！！）

でも引っ込み思案な僕はその理由をなかなか聞くことができず、おかしいと思いながらも一生懸命働き続けることしかできなかつたのです。

彼女との夢を叶えるためには、会社が理不尽だからとここで辞めるわけにもいきません。

そして・・・

この年の夏も冬もボーナスは7万円でした。

次の年の昇級も1万円。時給30円アップ(T↑T)しかも、井上が僕より先に課長になつてゐるではないか！！

（な・・・な・・・・）

（なぜだ・・・・・）

途方もなく納得できない感情に襲われ、まさに我慢の限界でした。そして、勇気を出して仲田さんに電話をかけました。

学歴差別

僕「僕より全然成果を出していない井上が、給料も役職も上になるって、どういうことですか？」

仲田さん「ああ、それな。しつかり言わなきやいけないと思つてたんだけど」

僕「なんですか？　おかしくないですかこれ？」

仲田さん「社長の好みやねん」

僕「好み？　どういうことですか？」

仲田さん「社長が井上を気に入つてんねん」

僕「?????」

仲田さん「井上、いい大学出とるし、前職も大手やろ？ そういうの社長好きやねん。エリートみたいのが。お前はエリートじやないから社長が認めへんねん」

たしかに僕は、普通の公立高校出身で、両親は離婚していて、15歳のときには母も亡くなり祖母の家で育ててもらつた、エリートとは程遠い人間です。

でも、僕の方が会社に貢献してきました。手抜きをしたことなど一度もありません。

プライベートも捨て、彼女や祖母との生活も捨て、まともに住む場所も与えられず事務所で生活するはめになつても、いつかきっと報われると信じてやつてきたのです。

頑張れば出世して昇給して、彼女と結婚して、家族を幸せにできると信じていました。自分のやりたい事ができる豊かな生活ができると信じていました。

だから、どんなに理不尽だと思う時でも忠誠を誓つて、尽くしてきたのです。

それが・・・・

「エリートじゃないから認めない」だと？

何その理由？

（フザケンナ!!!!）

電話を切つた僕の頬はぐちやぐちやに濡れていきました。
僕の中の何かが、涙と共に流れ去るのを感じました。

そして、この時、自分は間違っていたことを悟つたのです。

「社長の好み、会社の都合で人生を左右される。それがサラリーマンの現実」
「サラリーマンでは一生奴隸のような生活のままだ」と。

どうにかして、この現状を変えなければ。そうしなければ一生を棒に振ることになりかねない。
(行動しなければ何も始まらないぞ!)

(大切な人を大切にできない人生でいいのか?!)

プライベートでは、就職してすぐ結婚に向けて現実的にお金を貯め始めていました。

- ・婚約指輪の相場300～400万円
- ・結婚式の相場300～500万円

会社の給料ではまず無理な金額です。

だからとにかく生活費を切り詰めて貯金をしていました。安月給だったので元々切り詰めていましたが、限

界まで切り詰めていたのです。

朝食は水。

1つのお弁当を昼と夜に分けて半分ずつ食べる。

でも、お弁当は高いので、ほぼ毎日、京都駅南のイオンで、もやしと鶏のもも肉（合計100円未満）を買って炒めて食べる。

使っていたスマホも解約し、willcom（月3000円）に機種変更。

凄まじくひもじい思いをしながらも、これで月2万円程度貯金できるようになりました。

でも・・・ここまでやつて月2万円じゃ、婚約指輪を買うだけでも2年以上かかる。

結婚式まで15年かかる。30までに子供を産みたいと言っていた彼女が40代になつてしまふよ・・。

心の中から葛藤の声が聞こえてきました。

「婚約指輪も結婚式も諦める？」

「あんなに憧れてるのに？それじゃ俺と結婚しないほうがいいじゃん」

「結婚式つてご祝儀があるから、100万円くらい用意すればいいんだつてよ？」

「100万ためるのに4、5年かかるよ。この生活4年も5年も続けられるかよ(ーー;)」

「結婚したつて状況変わらないじゃん。どうするの？ 奥さんと子供にもやしと鶏胸肉だけ食べさせるわけにはいかないでしょ？」

「わかつてるよ。だから考えてるんだよ今！！」

毎日のように悩み、葛藤を繰り返し、出た結論はシンプルでした。

『節約では限界がある。収入を増やさなければ先はない』

でも、ここからが問題です。これだけやつて収入がほとんど増えないので、どうやって増やしたらしいのか・・・。

28歳は賞味期限切れ？

会社への忠誠心など涙で洗い流してしまつていましたから、何の躊躇もなく、まずは、転職サイトを覗いてみました。覗いてみると、どこの企業も似たり寄つたりで、自分が特別ではない現実を思い知らされました。

それでも、2つ3つ良さそうな企業がありましたので、電話をしてみると・・

僕「求人を見てお電話いたしました片山と申します」

担当者「お電話ありがとうございます。片山さんですね。今おいくつの方でしようか？」

僕「今年28になりました」

担当者「28歳ですね。こちらの業種のご経験はおありでしょうか?」

僕「はじめてです」

担当者「そうですか。あいにくですが、こちらの求人は経験者の方でしたら30歳までの方を対象とはしているのですが、未経験の方ですと25歳までしか受け付けておりません」

同じような形で気になつた企業は全て落ちました。

(転職は無理か・・・。条件がいい会社は競争率が半端じやないな)

(28つてまだ若いつもりでいたけど、そうでもないんだな)

バイトも考えました。今サービス残業をしている分の時間をバイトに回せば、それなりに収入が増えると思つたからです。

でも、営業の仕事はお客様次第。始まる時間も終わる時間も、何曜日に訪問するのかも自分では決められません。

これではシフトも組みようがないので、バイトも無理。

つまり僕ができる副業は、

- ・時間が自由
- ・曜日も自由

でなければならないのです。

それならばと株やFX、不動産投資をやつてみようと思いましたが、そもそも元手がありません。たった数万円で初めて、運良く2倍になつたとしても、大した金額は稼げません。

それに、素人の僕が手を出して上手いくほど甘い世界ではないのは誰にでも分かることです。一度失敗すれば、お腹をすかせて節約してきた貯金が一瞬でパアになってしまいます。
1円単位で節約してるので・・それは避けたい・・・。

そこで、さらに副業をリサーチしていくと「在宅ライター募集!」という広告を見つけました。

好きな時間に在宅でHPなどの記事を書いて、一ヶ月で10万円稼げるという、願つてもない副業です。

ただ、これはいいと思い詳しく調べてみると、1記事たつたの300円。（300円で10万円で、一ヶ月で300記事以上書かなきやいけないのかよ…）

理論上の計算と現実は違うものです。これもダメだと断念しました。

それでも、彼女にウェディングドレスを着せてあげたかったので、自分にあつた副業を探し続けました。

そして、本屋の『副業コーナー』に足を運んでみると、そこにあつた一冊の本に目が止まりました。

『副業転売で年収1000万円!』

（何？ 副業で1000万円？）

(・・転売？・・つてなに？)

内容を読んでみると

「商品をヤマダ電機やブックオフで仕入れてアマゾンで売る」とのこと。

(仕入れるとかアマゾンで売るとかどうやってやるんだよ？)

と思いましたが、内容を読んでみると、これなら時間も曜日の課題もクリアしつつ、副収入で10万円くらいは得られそうだったので、やつてみることにしました。

でも、いざやってみようとすると時間がない。

(どうしようか？)と思いましたが、会社に頼つていたら一生安い賃金で馬車馬のように働かされるだけです。

希望もなく、中年や初老になつて、一人夕日を見ながら

「俺の人生は何のためにあつたんだろう・・

なんてつぶやくような人生は御免です。

僕を誘った仲田さんも、僕が出した功績もあって会社のNo.2にまで昇格していたので、これ以上尽くす義理もありません。

（サービス残業を一ヶ月200時間やつても定時で帰宅しても同じ給料しか支給されないなら、できるだけ早く帰つて、休みもしつかりとつて副業をして、結婚資金に当てよう）

こうして僕は、サービス残業をできるだけしないことで時間を作り、転売を始めたのです。

とは言つても、営業はお客様に合わせる仕事。キッチリ何時～何時までとはいきません。なんだかんだで毎月100時間位の残業をして、休日出勤しながらも、なんとか時間をやりくりしていたのが実情でした。

朝はお店のオープンと同時に仕入れを開始、1、2時間で、ヤマダ電機、ジョーシン、エディオンと家電店

を飛び回り、アマゾンで売れそうな商品を調べまくりました。

23時に仕事を終えると、そこからドンキホーテに行つたり、ヤフオクを覗いて仕入れ商品を見て回りました。それこそ、1時2時まで。

ネットで仕入れをする「電腦せどり」もチャレンジしました。ただ、ネット上では全国の人が仕入れられる商品を探していることもあり、中々上手くいきませんでした。

休みの日になると、仕入れた商品をアマゾンへ出荷です。

一週間かけて仕入れた商品はダンボール何箱分にもなり、事務所の倉庫に隠しておくのもヒヤヒヤしたものですが、この出荷がまた大変。

何十枚ものDVD、よくわからないおもちゃ、店にあるだけ仕入れたヘッドホンなど、大量の家電が詰まつたダンボール箱を車に積んでファミマに行き、何箱分もゴチャゴチャと出荷手続きをして、その箱を再び車から下ろし、

お店の人

「こんなに沢山バックヤードに置いておけないんですけど」

なんて言われながらも

「すみません。でも、お願ひします」

と頭を下げてお願いして何時間もかけて出荷が終わる頃にはヘトヘトになつていました（汗）

出荷手続きの不備でアマゾンから商品が何度も戻ってきたことも、今となつてはいい思い出です。

こんな毎日を送つていたので、副収入も月10万円くらいにはなりましたが問題は、転売を始める前より時間がなくなつてしまつたことでした。

正社員として働きながら転売である程度稼ごうと思つたら、自由な時間なんて全くありません。

彼女とゆっくりする時間も、自分の時間もなくなりました。これでは何のために頑張つているのかわかりません。

それでも、3ヶ月ほどして婚約指輪を買った時は嬉しかつた。

男一人で宝石店に入つてお店の人には

「婚約指輪がほしいんですけど」

と言つたときの緊張感は今でも忘れません。

夢にまで見た婚約指輪。用意できてよかつた。

会社の給料だけでは我慢ばかりさせることでしたが、このまま自分が頑張り続けて副収入が10万円あれば、なんとかやっていけそうでした。将来子供が生まれても、習い事の1つ2つくらいはさせてやれそうです。

だから、その指輪を持つて、彼女にプロポーズしました。

ご両親にもしつかり挨拶をして、無事に婚約することができたのです。

「結婚式は1年後に挙げよう!」ということになり、僕は相変わらず会社の仕事と副業に精を出していったのですが・・・。

婚約から数ヶ月後・・・

あまりに苛烈に働きすぎたせいで、僕の身体は悲鳴をあげはじめたのです。

看護婦さんに座薬を挿れられ

それは京都から兵庫県姫路市まで営業にでかけた帰り道のことでした。

高速道路を運転していた僕は、突然の体の氣だるさに襲われ、視界が徐々に暗くなつていつてしまつたのです。

（ヤバイヤバイヤバイヤバイ！）

思いとは裏腹に意識が朦朧とし始めました。

（死、死ぬううう・・）

とつさの判断で車を路肩に止めたことで難を逃れましたが、下手をしたらやつと婚約できたフイアンセを残して死ぬところでした。

（このままいつたらいつか事故を起こすんじゃないか？）

（そうしたら、関係ない人を巻き込んでしまう）

その可能性も考えましたが、それ以上仕事を量を減らすことはできませんでした。転売もやめるわけにはいきません。やめたら結婚資金もためられないですし、結婚した後の生活もままならないのが目に見えていました

たから。

この頃の僕は仕事と転売でとにかく時間がありませんでした。彼女とは同棲を始めていたので会えないことはありませんでしたが、話ができるのは朝食のときくらい。

このままでは、何のために働いているのか、何のために結婚するのか分からぬ状況でしたが
「これが幸せにつながる道なんだ！」

「身体がついていかないのは気合が足りないからだ！」

と取り憑かれたように信じ切ることで、僕はそういった事を考えることを拒否していました。

思考停止することでしたら、現実を乗り切ることができなかつたのです。

今思えば、現実に目を向けるのが恐かつたのがわかります。

- ・会社に依存しないと生活できない現実
- ・何年経つても報われない会社員人生

・転売をやつていれば貧乏から脱出できる

とにかく努力さえすれば報われると信じたい自分が、そこにはいました。

ですが、それから2週間後のこと。

現実を直視せずにはいられないでき事が起きてしまったのです。

その日、仕事を終えて「さあ、仕入れに行こう」と一旦自宅に帰ると、背中の激痛で身体がほとんど動かなくなってしまったのです。

場所は背中ですが、ぎっくり腰のような痛みで、少しでも背中の筋肉が動くと頭から左足のつま先まで神経を直接触られているかのような激痛が走り、息をするのも慎重にしなければならないほどの状態でした。

そのままベットに倒れ込んで動けずにいたところ、2時間ほどして帰ってきた彼女に救急病院に運ばました。

救急医師の診察では「尿管結石」か「座骨神経痛」だろうとのことでしたが、結局激痛の原因はわかりませんでした。

ただ、ハツキリと言えること。

それは、『この働き方をこれから何年も続けていくことはできない』という現実でした。

婚約者が心配そうに見守る中、診察用のベットにうつ伏せになつた僕のお尻に、若い看護婦さんが痛み止めの座薬を挿し込むというはずかしめを受けながら（転売以外の副業を探そう）

と思つたのは言うまでもありません。

そして、この【座薬クライシス】が僕たちの人生を大きく変えることになつたのです。

子供ができたら『転勤命令』

座薬クライシスから10ヶ月ほどして結婚資金を貯めた僕らは無事に結婚式を挙げました。でも、体がもたなかつたので、この頃には転売はやめていました。

そして、挙式から7ヶ月後。妻の妊娠が発覚しました。

給料は全然増えませんでしたが私生活は順調でした。

・・・ただ不安も。

(お金がない事で家族にたくさん我慢させる事にならないかな?)

（奥さんが出産で働けなくなつたら家計はどうなる？）

（家計のためと奥さんが働いたら生後間もない子供が可哀想じやないか？）
と思つていた10月の下旬・・。

会社のNo.2になつていた仲田さんから通達が。

仲田さん「真一君、福岡の支店が上手くいつてないから立て直ってきて。来月から福岡勤務ね。今月中に引っ越して」

僕「（いやいやいや・・・奥さんまだ安定期にもはいつていな大事な時期なんですけど）えええ？！奥さん妊娠してますしそんな事言われても・・」

仲田さん「そやなあ」

僕「なんで僕なんですか？！行きたくありません」

仲田さん「社長が決めた事だから」

僕「だいたい、どれだけ結果出しても給料も全然上がらないじゃないですか。これじゃ生活できませんよ」

仲田さん「まあ給料決めるの俺じゃないからな。社長が決めたことだから」

僕「（ちょっと待てよ。年収1000万でもいけるって言つたのあんたじやん）・・・いや、そうはいつても、妻も正社員として店長やつてますからすぐになんて無理ですよ」

仲田さん「そやなあ。その辺のことは話し合うしかないんちやう？」

僕「考えます」

（向こうの会社の都合もあるのに、何様のつもりだよ？）

（大体、会社の給料だけなら奥さんの方がいいからな。4つも年下なのに）

(うう・・・情けない俺・・・)

・・・つまりこういうことですね。

家族ができた。守るものがある。だから、逃げたら路頭に迷わす。逃げられない。

確かに他の社員より会社に貢献してるが、会社辞めて収入なくなつたら家族が路頭に迷うぞ？いいのか？
よくないよな？ 言うこと聞けないんだつたら辞めてもいいんだぞ？

でも・・・お前にはできないよなあ？ 薄給だろうが、妻の妊娠中に突然の転勤命令があろうが、受け入れて行きていくしかないだろ？

【THE 奴隸方程式】

・・・完全なめられてますよね。今までのことを思い返せばよくわかる。

僕は会社にこう思われてるわけです。『お前結婚して奥さんのお腹に子供もいて会社辞めれないだろ？ 給料もらえないと困るもんな？ 会社の言つた通りに転勤する以外の選択肢がお前にあんの？ どうせないんだから黙つてさっさと行つてこいよ』と。

（ふざつけんなあああ～～～！～～～！）

会社に依存する以外の選択肢がないから、ないと思われてるからこんな理不尽な扱いを受けるんだ。

俺は自分の子供を産んでくれようとしている妊婦を置いて、京都から遠く離れた福岡に単身赴任はしたくない。何かあつたときにすぐに駆けつけられないじやないか！ そんな事くらい会社だつてわかるだろ？！

これが社会の現実だとサラリーマンの経験を積んだ人ならとつに知つてるかもしれません、僕はこの時によくやくその仕組に気がついたのです。

一生懸命働いて主任や課長や支店長のように出世をすると、『役職給』という名のお小遣いが一日100～300円程度の与えられるかわりに、毎月数十、数百時間のサービス残業を課せられる。

支店の成績が悪ければ休日出勤も当たり前。なぜなら「責任者」だから。

副業は基本的に禁止。という事は、自分の年収や自由に使えるお金は会社が決めるという事。

それは、ひいては、家族や、自分の趣味、父の日母の日のプレゼントに使えるお金の額も、会社が決める安いお給料の中でしか捻出できず、どんなに「大切な人を自由にしてあげたい」と思っても、それは自分ではコントロールできないということ。

世の中の人がよくいうように、確かにお金が全てではない。

でも、お金がないと大切な人を自由にしてあげられない。

現に今、僕には、妊娠して安定期にも入っていない妻を残して、遠く福岡への転勤を命じられている。

力のない綺麗事など、何の意味もないんだ！

この時、改めて確信したのです。

『会社にただ従う先に、自分の幸せはない』と。

「会社が儲かれば、お前の人生が崩壊しようとしつたことか」と思われていること。

その上に「それでも従うんだろう？」と、舐められてると。

なあうにが「それでも従うんだろう？」だ。会社に従うだけの人生に自分の幸せはない。

『会社の鼻つ柱をパンチしてやる。そして自分の人生を取り戻す！！』

ずっと前からぼんやり思っていたことですが、この時心底決意しました。

「俺は会社を辞めて自立する！大切な人を幸せにできる経済力と一緒に過ごせる時間を手入れる！」

・・・とは言え、今日明日でできることではありません。

実は、僕の反撃は1年前から始まっていたのです。

そう【座薬クライシス】の直後から。

第2章 まとめ

- ・役職手当は「合法的にいくらでもサービス残業させられる券」である
- ・大切な人と一緒にいられないのでは、出世をしても意味がない
- ・日本の会社は未だに努力が報われない「学歴社会」である

第3章 反撃の狼煙

反撃の下準備

実はこの転勤話がある一年前、座薬クライシスの直後から、転売以外の副業を探し、それを実践していたのです。

理由は、

- ・転売で多少の副収入を得ることはできましたが、体が限界だつたこと
- ・副収入を増やすほど、自由な時間がなくなつてしまつたことです。

転売をこの先何年も続けていく事は現実ではなかつたんですね。

でも、お金がない事で家族に制約ばかりかけたくはありませんでした。

そこで「時間があまりなくともできる副業はないか？」と情報を集めていると、運良く『ブログで月収30万円稼いでいるOさん』に出会う事ができたのです。

顔も体格も野球の大谷翔平選手似のOさんにはじめて話を聞いた時の高揚感は今でも忘れません。だつて、そこには僕が心の底から求める世界が待っていたんですから。そして、この日を境に、僕の人生は理想の方向に進みだしたのです。

僕「ブログで30万円稼げるって、なんですかそれ？」

Oさん「アドセンスって言つて、Googleの広告をブログに貼つておくと報酬が振り込まれる仕組みがあるんですよ」

僕「そんな毎月30万も行くもんですか？　マジですか？！　それはないでしょ？！（・・；）」

○さん「全然いきますよ」

僕「え？ そうなんですか？ でも、超難しそう(ーー;)」

○さん「いやいや。ただのブログですよ？ 何が難しそうなんですか？」

僕「その、設定とか」

○さん「設定なんて説明書みれば詳しく書いてありますし、YouTubeに動画解説もたくさん公開されていますよ
(笑)」

僕「でも、日記書いてアクセスが集まるなんてあるんですか？」

○さん「いやいや、日記なんて書いてもしょうがないですよ。芸能人でもない人の日常なんて誰も興味ないでしょ。書くのは日記じゃなくて……。

僕「日記じゃなくて・・？」

○さん「○○なんですよ（笑）しかも、ブログの良いところはその後は、ほぼほつたらかしにできるつてことです」

僕「どういうことですか、それ？」

○さん「ネット上にアパートを所有しているような感じで、毎月家賃収入みたいに、自動で報酬が入つてくるんです。たとえ1ヶ月遊んでたとしても自分の代わりにブログが稼いでくれる。不労所得つてことですね。みんなが夢見るあの不労所得」

僕「（不労所得、はじめてきいた）自動でお金入つてくるつて、そんな事あるんですか？」

（しかも30万円で、僕が超働いて稼いでる給料より何万円も多いし・・）

○さん「普通にあるじゃないですか。実際家賃収入の人とかは働いてないですよね？」

僕 「・・・確かに。お客様にそういう人何人かいりますけど・・・」

○さん 「はい、それをブログでやればいいんです。本当にアパートを建てるわけじゃないので、リスクもほとんどありませんよ」

僕 「そうなんですか！ でも、ほとんどないつて、どのくらいあるんですか？」

○さん 「ん~、安くすませようと思えば、1ヶ月300円くらいですかね。まあ、高くて1000円くらいですね」

僕 「え！？ たったの300円？ それで1ヶ月30万円も？！」

○さん 「そうですよ(笑) それに、これのいいところはね・・・」

僕 「いいところは？」

○さん 「ブログを書けば書くほど報酬が増えていくってことです。それはそうですよね、書くほどアクセスが集まるようになるんですから。ブログで月収100万円なんて人もいるくらいですよ」

僕 「(・・・△・)ハッ?」

○さん 「だから、例えば僕なら、今ブログから30万円の収入があるわけですよね。しかも時間がかかるっていないので、これを2倍にすることも3倍4倍にすることもできますよね？ それをする時間があるわけですか
ら。」

僕 「なるほど。すごいですね」

○さん「このくらいやつてる人はゴロゴロいますから、特に僕がすごいってわけじゃないんですよ。そんなに難しくもないですし」

僕「いや、難しいでしょ？」

○さん「そう思う気持ちはわかるんですが、それはただの先入観ですよ。ブログやつて失敗しちゃう人って、日記とか書いちやつてアクセス来ない！って言つてるわけです。さつきも言いましたけど、それじゃダメなんですよ。学校のテストでも、勉強せずにテスト受けても点取れないじゃないですか？」

僕「はい、そうですが」

○さん「ブログも、どうやつたらアクセスが来るのか理解してから初めないと。僕もそうですが、上手くいつてる人は学んだことをただ実践してるだけです」

僕 「そうなんですか。でも、学ぶつて相当やらないといけないですよね？」

○さん 「いえ、単純にブログで稼ぐだけなら1日あればおおむね理解できますよ。ブログは単純作業なんですよ」

僕 「そなんですか？」

○さん 「そなんです。それなのに、みんななぜかブログの勉強は1日もしないで始めちゃうんですよね（苦笑）何年も学校に通つて毎日勉強してきたのに、それは失敗しますよね（汗）簡単なことなのに、勝手な先入観で難しいと決め込んで学ぼうとしない。これじゃ上手くいくはずありませんよね」

僕 「言われてみれば当然ですね。そもそもやらなかつたり、適当に初めたり(ಠ_ಠ) 危なかつたです僕」

○さん 「危ないと言えば、独学でいく！　Googleで検索した情報だつたり、本で勉強する人がいますが、こ

れもやめたほうがいいです」

僕「え？ なんですか？」

○さん「本なんかはもう情報が古すぎます。企画、執筆、製本、出版・・・の段階で何ヶ月もかかっています。なので、たとえ今日出版された本だとしても、今はもう使えないことがほとんどです。検索してもそれは同じで、情報が古かつたり、自分には合っていない情報であることが本当によくあります」

僕「え？！ そうなんですか？昨日公開された記事だつたとしてもですか？」

○さん「たとえ昨日公開された記事だつたとしても、そのやり方が、本当は使っちゃダメな場合もあるんですよ。慣れてきたら見れば分かるようになるんですが、初心者の時は見分けがつかないので絶対当てにしないほうがいいです」

僕 「え？ じやあどうしたらいいんですか？」

○さん 「それは、ちゃんと信頼できる人から学ぶことです。僕もそうでした。100万円くらい払いましたが、余裕で元取れますね」

僕 「100万円？！ そんなに？」

○さん 「お金は使わないと増えないですからね。その時はたまたま手元に100万円あったのもあります。もちろん、その頃の100万円は大きかったですよ」

僕 「すごいっすね。100万なんて持つてませんわ僕」

○さん 「いや、100万円はキツかつたですよ。でも、その人から教わることにそれ以上の価値を感じたので自分の将来に投資をした感覚です。それに、自分にとつてキツイくらいの金額を払うことで覚悟が決まるんで

す

僕「覚悟ですか？」

○さん「はい。覚悟です。同じことをやっているのに成功する人と失敗する人がいるのは、覚悟の違いなんですね」

僕「生まれ持った能力の差ではなくてですか？」

○さん「はい。生まれ持った能力にはほとんど差がないというのは、遺伝子学なんかではよくいわれてますよね。そこじゃないんです」

僕「その覚悟を決めるためには、それなりの金額を支払う必要があると」

○さん「そうですね。それに、投資した金額は戻ってきますからね。その時の100万円も今の時点でもう何倍にもなってきますし、これはこの先もずっと続くわけです。成功してる人つて必ずそうします。特に知識や経験に投資してるんですよね」

僕「そうなんですか？」

○さん「もちろん、誰でも信頼していいわけではないですよ。実績がある人に教わらないと。それも、まぐれじゃない実績を出している人です」

僕「それはそうですけど、まぐれで実績出る人つているんですか？」

○さん「ブログって、たまたま当たっちゃうことあるんですよ」

僕「そうなんですか。じやあどうやって信頼できる実績がある人を見分けるんですか？」

○さん「まぐれ当たりの人は、2つ目のブログを作つてもアクセス伸びないんですよ。所詮まぐれですから。でも、まぐれ当たりじゃない人は、常に大量アクセスのあるブログを作れるはずですよね」

僕「大量アクセスの目安つてどのくらいですか？」

○さん「1日1万アクセス、月間30万アクセスのサイトを2つ作れていたら、それは実力があると思つていいますよ」

僕「なるほど、月間30万アクセス以上のサイトを2個ですね」

○さん「はい。巨大サイトを2個作っていたら、確かな実績があると言えるでしょう。まぐれは2回も起きませんから。投資つて言うと株とか不動産とかつて思う人いますけど、それはお金ができてからで、その前に、知識がないと何やつても上手くいきませんよね。それを自分のお金を使って仕入れられるようになると、何年も無駄にすることなく結果を出せます」

僕「なるほど。考えてみれば当たり前ですね。だから○さんもたつた数ヶ月で結果出せたんですよね」

○さん「そう。でも、この当たり前が何故かできない。ほとんどの人ができていないから『富めるものは益々富み、貧しいものは益々貧しくなる』状態になつていてるわけです」

僕「ああ、あの、新約聖書に書いてある」

○さん「だからみんな、勉強しようよ！」と言つたのが福沢諭吉ですよね。

『人は、生まれながらに、貴賤貧富の別なし。

ただ、良く学ぶ者は、貴人となり、富人となり、

そして、無学なる者は、貧人となり、下人となる』

だつたり、

『知識が増えれば増えるほど、お金も稼げるようになるし、人間としても成長する。それで、お金が稼げるようになつたら、またそれを知識に投資する。それによつて、またさらに大きく成長する』と言つてますね』

僕「おお！　まさに今○さんが教えてくれたことですね」

○さん「あと『天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず』は有名なことばですよね。人間は皆平等で、身分や階級、役職の上下、家柄などで差別されるべきじゃない！」という僕の好きな言葉です。ただ、現実はそうはいつていなくて、会社では上司が部下に理不尽な要求をしたり、お金持ちがお金で苦労している人をバカにしたり。僕はそうなりたくないな」

僕「うう・・○さんいい人だ」

○さん「ん、どうしたんですか真一さん？」

僕「いや、僕は会社の転勤で住む場所がなくなり事務所に住まなきやならなくなり、サービス残業200時間を越えて、それでも安月給なので食費を浮かせるために1つの弁当を2つに分けて、昼食と夕食にしていたこともあります・・」

○さん「ああ、それで副業なんですね。結婚するんですよね？ それなら、やるしかないですね！福沢諭吉もこんなこと言つてますよ。

『人間は、負けるとわかつていても、戦わねばならない時がある。

だから、たとえ負けても勝つても、男子は男子なり。

勝負をもつて人物を評することなかれ。』

まあ、ブログは負けたとしても痛手はないですし、そもそも勝てる戦いですけどね(>‿
.)

僕「はい！ やりたいです！ そして僕はお金持ちになつても絶対人を差別したり、お金がない人をバカにしたりしません！」

○さん「まあ僕はブログ教えてないんですけど、そのかわりに、いいこと教えますね」

こうして始めた副業ブログで、後に初めて作つたブログで月間24万アクセスを安定的に維持し、2つ目の
ブログは月間100万アクセス超え、3つ目のブログでは月間200万アクセスを超えることに成功。

収入もブログだけで毎月100万円以上になり、それだけではなく、僕の噂を聞きつけた社長さんや個人事

業主の方にWEB集客コンサルタントとしての依頼が毎月のようになります。

今では武術の元世界チャンピオンのプロデュースやTVや雑誌に頻繁に紹介されている超人気和菓子店のWEB集客の手伝いだつたり、世界一のジュエリーデザイナーなど、海外のクライアントも抱えるほど人気のカウンセラーのビジネスモデルをコンサルティングするようになつたのですが、それはもう少し先の話。

Oさんの話を聞いてブログを始めた当初、初めて作ったブログは中々上手くいきませんでした。それもそのはず、その頃お金のなかつた僕は、どうにかお金をかけずにブログを始めようとしまつたんですから。

「ブログ やり方」「ブログ 書き方」なんてGoogleで検索して、そこにある情報に沿つてブログを作り始めてしまつたのです。

すると、「ブログは150文字くらいの簡単な記事をほぼコピペでいいので量産しましょう」「今話題になつてゐる芸能ネタ、スポーツニュースなどの記事が成果が出やすい」と書いてありました。

（なんだ、それなら超簡単じゃん！）

と早速無料ブログを作り、当時話題だつたテニスの錦織選手の試合結果を書いて、その記事をそのまま量産しました。

例えば「テニス錦織選手の温ブルドン試合結果」みたいな感じですね。

（これで俺も不労所得10万はいく！）

なんて思つていまつたが、そつは問屋が卸さない。

確かに、話題になつてゐる1、2日はアクセスが集まるのですが、その後は、その記事には全くアクセスが集まらないのです。

それはそうですよね。話題になるのは一瞬だけですから。

でも、諦めきれなかつた僕は、ひたすら同じような作業をし続けました。温ブルドンの次の試合結果や、他の有名人のネタをひたすら書いて、ほんとコピペで量産し続けたのです。

でも、結果は同じ。

それどころか、書いたその日に記事がGoogle上から削除されるなんてこともしばしば。

毎日毎日記事を書き続ける作業を2ヶ月ほど続けて気が付きました

「これ、一生続けるのはしんどいぞ」

「これじゃ一生労働から解放されない」

そして再び調べてみると、この手法は「トレンドブログ」と言われる手法で、僕と同じように、毎日何記事も公開する労働に嫌気がさしてやめていく人が多いということもわかりました。

それだけならまだしも、この手法はもう使えないと！

「なんだこれ？！　ダメじゃん！」

素人がググつて知った情報で作ったブログなど、箸にも棒にもかからないという現実をまざまざと見せつけ

られる結果となつたのでした。

（Oさんが情報に投資しろとあれほど言つっていたのに、俺は何をやつてるんだ・・・）

（本気さが足りなかつたんだ）

2ヶ月も無駄にしてしまつた事を猛反省し、今度はしつかりとブログ教材を買って学ぶことにしたのです。

すると、一生記事を書き続けなければならない「トレンドブログ」とは対極にある「資産型ブログ」の存在を知ることができたのです。

でも、そこにある解説を読むと、こう書いてありました。

-
- ・一年中検索される記事を書くと、その記事がずっとアクセスを集める
 - ・その手の記事をある程度書けば、その後は新しい記事を公開する必要がない

（なるほど、確かに。つまり「赤ちゃんの下痢の原因は？」とかそういう記事を書いていけば、トレンドブログのようの一瞬しかアクセスが来ないなんて事態にならないわけだ）

（で、その手の記事がある程度あれば、アクセスが安定して不労所得化できるわけね！）

こうして、徐々にブログにアクセスが集まり始めたのです。

今なら2ヶ月あれば2~300万円の収益があがります。つまり・・出だしが2ヶ月遅れたということは、2~300万円損したことです。

なんてもつたいない事をしてしまったのか・・。さつさと覚悟を決めて始めればよかつたのに。

2つの選択肢

妻を京都に残しての転勤の話が出たのは、このような縦余曲折を越えてようやくブログがうまくいき始めた時期でもあつたのです。・・と言つても会社の給料の半分くらいの収入でしたけど。

この頃は毎月5万円ずつ副業ブログの報酬が上がり続けていたこともあり（2、3ヶ月後で給料超えるぞ）と手応えを感じていたりもました。

そうは言つても、会社の言う通り転勤するか、このタイミングで仕事辞めるかはかなり悩みました。

それに、妊娠中で過敏になつている妻に余計な心配をかけないようにと、僕自身がストレスフルな状態でした。

僕に残された選択肢は2つ。

【選択A】

会社の言う通り京都に奥さんを残して単身赴任。

奥さんに何かあつてもすぐには駆けつけれないが、食べていくくらいの給料は保証される。

【選択B】

会社を辞めて波に乗り始めた副業にエネルギーを集中させる。

給料は保証されなくなるが、奥さんのそばにいてあげられる。

失業手当とブログの報酬で3ヶ月は今の給料分程度はほぼ確実に収入がある。

そこから先はわからないが、このまま行けばその頃には会社の給料は越えている。

10月に直属の上司から

「福岡支店にいってもらう」

と連絡が来た時、妻は京都駅にあるアパレルショッピングの店長をしていて、2月末まではそのお店に務めることが決まつていました。

まさか妻に、

「主人が福岡転勤になつたので、すぐに辞めさせていただきます」と無責任な辞め方をさせるわけにもいきません。

つまり、このままだと、デリケートな時期の、妊娠4ヶ月の妻を京都に残したまま2週間以内に、福岡に行くことになるのです。

僕と妻の実家は静岡なので、京都でそばにいられるのは僕だけです。

まだ妊娠4ヶ月でいつ何が起ころのか分からぬのに、そばにいてあげられないなんて、考えられません。急なお産があつた時はどうしたらいいのか？

つわりの時、背中をさすつてあげることすらできない。風邪をひいたとしても、だれも看病する人がいなくなるのです。

会社にもその事を言いましたが、「社長命令」の一点張りで、僕の言う事など、全く聞く耳を持つてはくれませんでした。

「しばらく、考える時間をください」

こう伝えるのが、精一杯でした。

(妻や子供に不測の事態が起きたらどうする?)

(妻のそばにいたい)

会社を辞めてインターネットの仕事に集中するか?でも、それで生活していくのか・・・。妻と子を養つていけるのか・・・。

一週間、悩み続けました。

その間、妻とは何度も話し合いました。話し合いの中で、いつもは、ニコニコ笑つてばかりいる妻が見せた少し切なそうな顔が印象的でした。

そして、

「そばにいて欲しい」

と言つたのです。

この言葉が、胸に響きました。会社の良いように使われて、自分の人生を生きる勇気のない自分が恥ずかしく思いました。

（もう、大切な人に、不安をかける自分ではいたくない）

心底そう思いました。

だから・・・

・・・僕は決めました。

『会社をやめよう』と。

不安がなかつたと言えば嘘になります。

でも、どう考えても妻を一人残してはおけません。

それに、「無理な転勤命令」「妻の妊娠」「軌道に乗り始めた在宅副業」の全てが同じタイミングで起きる

事が、僕には、ただの偶然とは思えなかつたのです。

まるで、誰かに、

「今の段階は卒業して、次の段階に入るときですよ」と言われているかのように思えたのです。

だから、不安な気持ちと同時に、

「この流れに乗れば上手くいく」「乗らなきやいけない」と、確信のようなものもありました。

だから、妻のそばにいてあげたい気持ちと、その確信に従うことにしてました。

次の日、会社をやめるために、仲田さんに電話をかけました。

僕「仲田さん、俺、会社辞めさせてもらいます」

仲田さん「・・・そうか。・・・しょうがないよな」

たつたこれだけ。

たつたこれだけの会話で僕は4年間のサラリーマン生活に終止符を打つたのでした。会社からしたら「使える駒が一つ減った」程度でしかなかつたのでしょう。

それから・・・

月収100万円

予想通りサラリーマン時代の収入を2ヶ月後にはあっさり突破しました。自分のビジネスに集中したことで妻

のサポートをしながらも、ブログへの訪問者数は順調に上がつていきました。

次の月には5万円増え、その次の月は10万円増え…。

しばらくするとブログからの収入50万円になり、80万円になり、100万円になつたのです。

会社を辞めてから、たつた3ヶ月後で1日の訪問者数が、4万人を超えた。つまり、1ヶ月で120万人以上が、僕のサイトに訪問してくれるまでに育つていったのです。

その後もブログは順調に育つていき、「家族を養つていけるのか?」と言う不安はあつさり、拭い去ることができました。

基本的に、時間にも場所にも束縛のない仕事なので、今現在は、昼なら、自分のオフィスや、近所のカフェやコーヒーキングスペース夜に外で仕事をしたくなつたら、近所のBARで仕事をしたりしてます。

また、ネットでミーティングができるので、気に入つたお店のプロデュースをしたり、個人のコンサルタントをしたり、時には僕が直接、ビジネスモデルを構築するお手伝いをしたりする形で日本中にクライアントさ

んがいます。

ブログの知識がついてくると、特定の層を狙った集客もできるようになるので、実店舗を持つ経営者向けにも、【実店舗向けマーケティング6ヶ月セミナー】等で直接会って、「超巨大オウンドメディアの構築方法」や「インターネットを使って繁盛店を作る方法」を教えてきました。

インターネットを使った「集客」や「信頼関係の構築」「販売」や「アフターフォロー」等、いわゆる「インターネットマーケティング」は実店舗が取り入れると、ものすごく効果的です。そういう事で、教えたりもしています。

僕は、働くことが好きなので、毎日しつかり働いていますが、家族と一緒にいる時間も、十分にとることがでています。妻と2歳になつた息子と、生後半年の次男と朝・昼・晩、一緒にごはんを食べることができますし、夕方になると、よく3人で散歩に出かけます。

毎日の息子のお風呂は、僕の担当です。

僕がとつた戦略は所謂トレンドブログと言われる、一時的にしかアクセスが集まらない芸能ニュースなどを扱うものではなく、一年中アクセスが集まるようなものなので、一度作ってしまえばほぼほつたらかしの状態で報酬が銀行口座に振り込まれ続けます。

ブログをはじめて4年経ちますが、今でもずっとです。

こう伝えると不思議に思うかもしませんが、Oさんとの会話にあつたように、ネット上にブログと言う名の不動産があつて、そこから収益が発生すると思えばしつくりくるでしょうか。

見る人を集めて沢山の人に広告を見せるわけなので、クリック型ではないとはいって、テレビCMも雑誌の広告もやっていることは同じですよ。

最近だ>YouTubeが同じような仕組みです。YouTubeを見た人が、そこに表示される広告をクリックすると、YouTuberに報酬が振り込まれるのと同じです。

YouTube>違うところは、顔出し不要なこと。

それと、日々新しい動画を公開し続けなくていいことです。

(YouTubeは公開をやめるとアクセスがガタ落ちします)

ここは、重要な点です。

いくら経済的に豊かになつたところで、時間がなければ意味がありませんから。

第3章 まとめ

- ・収入には「労働収入」と「資産収入」の2種類がある
- ・1ヶ月1000円で30万円以上の資産収入がつくれる
- ・ブログなど簡単な単純作業
- ・「難しそう」は行動しない言い訳
- ・独学は無駄
- ・先に行動することで、覚悟が決まる
- ・実績のある人＝30万サイト×2つ以上

第4章 「お金があつたら幸せ」は嘘

お金があつても不幸な人達

よく、会社で一生懸命働いて出世もしてお給料を沢山もらっている部長さんなんかの家庭が上手くいっていない話を聞きましたか？せつかく家族のために頑張っているのに、そのせいで逆に家族と不仲になってしまふなんて皮肉ですよね。

僕が昔働いていた営業会社の部長は

「営業で成功する人はほぼ100%離婚する」

と豪語していて、たしかにその部長も離婚経験者でした。

それじゃ離婚するために仕事してみたidelberg。

100%離婚は言い過ぎだと思いますが、確かに仕事で家族との時間が少なくなれば、それだけ家庭がギクシャクするのも容易に理解できます。たとえ独身だつたとしても、時間がなければ趣味も遊びもできないので、いくら稼いでもそれでは意味がありません。

最近知り合つた若者は、まだ20代で高級車に乗り、タワーマンションに住み、年収2000万円らしいんですけど、しばらく姿を見ないと思つていたらストレスで鬱病になつてました。

これじゃ働く意味がない。

幸せは「経済的な豊かさ」と「時間の余裕」があつて初めて成立するのです。

定年してから自分の時間ももつのは遅すぎます。その頃に今と同じように体力があるわけでもないので、2、3泊の旅行をするだけでも一大事です。

そもそも健康でいられる確約がないのです。

今しかできないことがあるのです。今叶えたいと思っている夢も、時間が経てば経つほど叶いづらくなってしまいます。

それなのに、わざわざ何年も何十年も先延ばしにする理由がありませんよね。

やりたいことを先延ばしにし続けた結果待っているのは、後悔だけです。

僕は、一度しかない人生を後悔するような生き方を、あなたにしてほしくありませんよ。

もしも今これを読んでいるあなたが、お金や時間のなさに不安を感じているのなら、少し前の僕も同じだったという事を忘れないで下さい。

僕は、あなたと同じところにいたのです。

でも、正しく学んでたつた数ヶ月の間、覚悟を決めて努力するだけで、人生を劇的に変化させることができたのです。

これは、僕だけでなく、これまで数多くの人が体験してきたことです。あなたの同級生や、知り合いにも何人かいるのではないかでしょう？

僕はブログでネット上に資産を作つていく中で気がついたんです。

どうしたら後悔しない人生を送れるのか。どうしたら充実した幸せな人生をおくれるのかということに。

幸せな人生をおくる方法

『桃栗三年柿八年』という古いことわざがあります。

この意味って『桃や栗が育つて実をつけるのには3年かかるし、柿は八年かかる』って教わったと思いま
す。

確かにその通り。でも、さらにその先の意味があるのです。

つまり『桃栗三年柿八年、一回育つたらずつと取り放題』ということです。

「いやいや、桃や栗を植える土地ないよ」つてツッコミはなしでお願いします（焦）実際に木を植えるわけでは
はありません。

「三年八年かかるなら嫌う！」つていうのも、ちょっと待ってください。そんなに時間はかかりません。今
の

時代、インターネットがあるのです。

なので土地もいらないですし、期間も数ヶ月あれば大丈夫。

インターネットっていうと難しく考える方がいますが、要するに土地だと思つてください。

さつきは不動産で例えましたが、今は木のほうが分かりやすいので、こう考えて下さい。

そのインターネット上の土地に、実のなる木の苗を植えるんです。その苗を植えてしばらくすると実をつけ始め、着実に成長して実り豊かな木になります。

僕はブログを書き始めてから少しづつ報酬が入りだし、しばらくすると更に成長して報酬額10～30万円くらいになりました。後はちょっとメンテナンスするだけで、この4年間自然にずっと報酬をもたらし続けてくれています。

もちろん実際の木とは違い四季は関係なく、毎日1万円とか2万円分とか、時には4万5万円の実をつけてくれるのです。理想的ですね。

ちなみに僕はブログを今でも育てているので、報酬額はどんどん上がっています。

ただ記事を公開しているだけなんですが、育て方が分かっているので、失敗することなくどんどん育ちます。

記事を公開すればただけ成果になり、公開した記事が増えるほど収益も上がるのです。

シンプルに言うと、3やつたら3やつただけの収入があり、20やつたら20やつただけ稼いでくれる。100やつたら、その後の報酬額もそれだけ増えるのです。

なので、満足いくところでやめて、後は好きなことをして生活することができます。

「どうしたら幸せで充実した人生を送れるのか？」の答えは、こうやつて『確実に積み重なる仕事』をしていくこと。

そうする事で「自分の人生を生きるための経済力」と同時に「時間」も手に入れることができます。

サラリーマン時代の僕は、毎月毎月のノルマに追われ、会社の給料のための仕事をしていったからいつも腹ペコなほど節約して、あれだけ頑張つて働いたのに、豊かになることはありませんでした。

サラリーマンならしがないことです、その月の給料だけを追いかけて仕事をしてから、いざ会社と縁が切れる何も残つていません。なんて事になつたのです。

だからこそ、あの時会社を辞める決断をした自分を今では褒めたい。

「よくぞ決断してくれた！」と。

サラリーマンはリストラや会社の倒産リスクもあれば、交通事故などの怪我や病気で働けなくなると収入がストップします。何十年後も今の会社が残つているという保証はありません。そんな事は統計データを見ればわかることです。

でもネット上に収益を生み出してくれる仕組みを作れば、会社に依存することなく自分の力で稼いでいけます。しかも時間も場所も選ばずに、1日1、2時間あればたつたの数ヶ月でサラリーマンの給料分くらいの不労所得を得ることも可能なのです。

例えば、もし僕が今日から一年間の世界一周放浪の旅に出かけて何もしなかつたとしても、毎日収益が上がり続けます。なぜなら、それまで積み上げてきた収益を生み出す仕組みがネット上にあるからです。

それに、その過程で得た技術とスキルを使って、お店の集客の手伝いやプロデュースをすることもできます。

僕は今では毎日のように朝は子供と一緒に公園に行って、夜は家族と一緒に寝る生活を送っています。あのままサービス残業200時間のサラリーマンでいたら、こんな未来は夢物語で終わっていたことでしょう。

だれでも理想の未来を掴むことができます。

旅行が好きな人はカリブ海クルージングでもナイアガラの滝でも国内温泉旅行でも気兼ねなくいくことができます。

趣味がある人は、一年中趣味に没頭して、趣味仲間たちと楽しく生活することも可能です。

でも、経済的豊かさと時間に余裕のある生活を望みながら、そうなれる未来を信じない人が沢山いることも事実です。その辛さ、僕には自分のことのようを感じるのです。

だから、かつての自分と同じような状況にいる人を助けたい。

僕のように家族との時間を大切にしたいのに犠牲にせざるをえない人。

やりたい仕事があるのに、それを仕事にするため勉強をする時間がない人。

心から成し遂げたいことがあるのに、お金がないだけの理由でその道を歩めない人。

僕が同じ経験をしてきたのは、こういった人達に僕の得てきた経験と知恵を渡して行くためなのだと思います。

もちろん、主婦でも学生でも誰でもこちらの世界に来ることは可能です。たとえ今、どんな状況にいようと、です。

元は住む場所もなく、サービス残業200時間の捨て駒サラリーマンだったようなうな僕でも、当時の給料の半年分をたった1ヶ月で得られるようになつて、自分が理想とする人生を掴むことができたのです。

次は、あなたの番です。

あなたに必要なものは「正しい知識」と「覚悟」の2つだけです。知識は僕から学べるだけ学んでいくくださいね！

そして「理想の未来を手に入れる！ そのため行動する！」と今決めて下さい。
そうする事で、ずっと止まっていたあなたの人生の歯車が回りだします。

第4章まとめ

- ・仕事は大切な人幸せにするためにするもの。大切な人を犠牲にしてはいけない。

- ・ 幸せ || 「経済的な豊かさ」と「時間の余裕」
- ・ 歳をとつてから余裕ができても、もう遅い
- ・ 僕は、以前の自分と同じ状況の人を助けたい
- ・ 「確実に積み上がる仕事」をしないと「時間の切り売り」から一生逃れられない

あとがき

長男が生まれる時は、妻が深夜3時に破水して、そのまま入院して、午後9時までずっと付き添っていました。

まだ会社員だつたら、

「破水？ 今日仕事だろ。どうすんだよ？」とか言われていたかもしれません。

長男の時は妻の子宮口の開きが甘くて、陣痛もまだ本格的に始まつていなかつたんで、僕は一旦帰宅。

シャワーだけ浴びて心を落ち着かせ、寝不足はいかんと23時半頃寝ようと思つたら奥さんから電話が！

奥さん「きた！ 陣痛・・・もうすぐ生まれるつて。早く来て」

車に飛び乗り病院に駆けつけると、0時25分無事に長男くんが誕生したのでした！

もしも今でも会社に勤めて低賃金で働いていたら、毎日サービス残業で帰宅は子供が寝てから。どれだけ働いても家族に負担をかける結果となつたでしよう。

そして、子供が2、3歳になると「おじさん誰?」って言われちゃう。

(あなたのために一生懸命働いているのに〜!)

・・そんな人生は誰も望んでいないはずです。

不労所得を作ればそうはなりません。好きなときに、家族と一緒にいられます。さらに、その収入は基本的にやればやるほど増えていくのです。

「雇われないと生活できない」なんて常識は雇う側の都合で作られた常識に過ぎません。雇われる以外の方法で稼ごうとしたこともない学校の先生に刷り込まれた間違った教育。

いわば、洗脳です。

実際に雇われる事なく生活している人は沢山いるんですから。

人の幸せってなんでしょうか？それは、後悔しない人生を送ることだと僕は思います。

後悔しないためには、諦めないこと。行動することです。子供の頃に刷り込まれた不自由になるための価値観を捨てて行動しましょう。

行動して、自分のやりたいと思う事ができる環境を作りましょう！

そうすれば、趣味に没頭する時間だって持てますし、夢を叶えるための勉強をする時間だっていくらでも持つことができます。

僕の周りにいる仲間は皆、時間にもお金にも気持ちにもゆとりがあります。だから「来週東京で勉強会です」と告知があれば全国からみんな集まつて勉強会をしたり「神戸で懇親会です」となれば観光がてら参加したり。

こんな風に伝えると、まるで別の世界のことのようを感じるかもしれません。でも案外あなたのすぐ手の届

くところにこの生活があるのです。

だからこそ、数年前の自分と同じように苦しんでいた人に、こちらの世界に来てほしい。積み上げる形の収入を作り、あなたの歩みたい道を歩む環境を作つてほしい。

不労所得を得ようと思った場合、ブログ以外の方法も確かにあります。

でも、初心者はまずはブログが一番です。

なぜなら、FXや不動産投資のように、大きなお金を用意する必要がなく、リスクがほとんどないからです。それでいて年収1000万円くらいは現実的に狙えます。

トップレベルの人だと、月収2000万円越えの人もいますし、先日、僕の生徒は自身のブログを1000万円で売却したところです。

また、僕の友人に関しても、企業へ1億数千万円で売却が成立しました。

そんな事もできてしまうんです。

お金がないことで節約ばかりの生活で一生を終えるのは辛すぎます。

それで心の余裕がなくなつてしまつて鬱氣味な人、あなたの周りにもいませんか？

心が痛みますよね。

でも、資産収入を作れば選択肢がズワ～っと広がります。

普通は雇われる以外の選択肢はハードルが高いと思われていますが、選択の自由がある人つて今どんどん増えているんですよ。

僕の周りには同じようにブログを書いて一ヶ月10万円20万円稼いでる方つて普通にいます。ゴロゴロいますよ。

なので、「好きな音楽を続けていきたい！」つて人は好きなだけ音楽やつて、「俺は釣りをしてる時が一番楽しい」つて人は、海釣りでも川釣りでも好きなだけできます。

毎日がレジャーです。毎日が夏休み状態。

そんなライフスタイルを送る人が日本中に溢れたらどうなるでしょうか？イメージしてみて下さい。好きな事をして生きていて、時間にもお金にも心にも余裕がある人が沢山。自分の本当にやりたい事してを生きる人がたくさん。

考えるだけでワクワクしませんか？

きっと日本が今のような暗い時代を抜けられると思うのです。

自殺者3万人、子どもの貧困なんて終わりにしたい。

だから、まずはあなたに豊かな人生を体現してほしいのです。

もしもサラリーマンしか選択肢がないのだとしたら、かつての僕のようにこき使われて、下手すると何年も我慢する事になりかねません。

定年退職の直前にクビにされちゃつたりする人もいます。僕の同級生のお父さんは、実際その憂き目に遭いました。

そもそも、老後も安心できるような「退職金」や「終身雇用」「企業年金」なんて、もはや過去の産物なのです。

毎月支払っている年金だつて、10年後20年後もまともに支給もされると信じてる人って、どのくらいるんでしょうか？そこに依存しようとするのは危なすぎますよね。

でもこれが今の日本社会の現実です。

これじゃいけないです。

だからあなたはネット環境が整つたこの時代に生まれたチャンスを十分に活かして、選択の幅を沢山持つてほしい。老後の蓄えのために始めるでもいいと思います。

サラリーマン辞めたい、家計の足しにしたい、副業で稼ぎたい。

どんな理由でもやる気があるならトライすべきです。

お金があると時間がない。時間があると、お金がない。どこかの企業の社長や、地主さんにならないと両立

できないなんて時代じゃありません。

今は自分の人生を生きることは誰でもできる。そのための環境はブログ1つで作れます。やりたい事を封印するのはもうやめにしましょう。

【付録】

全体のまとめ

- ・きっかけは、祖母の介護をしたかったこと
- ・データのやりとりなら、場所も時間も選ばずに仕事ができる
- ・役職手当は「合法的にいくらでもサービス残業させられる券」
- ・大切な人と一緒にいられないのでは、出世をしても意味がない
- ・日本の会社は未だに努力が報われない「学歴社会」である
- ・収入には「労働収入」と「資産収入」の2種類がある
- ・1ヶ月1000円で30万円以上の資産収入がつくれる
- ・ブログなど簡単な単純作業
- ・「難しそう」は行動しない言い訳
- ・独学は無駄
- ・先に行動することで覚悟が決まる

- ・ 実績のある人 || 30万サイト×2つ以上
- ・ 仕事は大切な人幸せにするためにするもの。大切な人を犠牲にしてはいけない。
- ・ 幸せ || 「経済的な豊かさ」と「時間の余裕」
- ・ 歳をとつてから余裕ができるても、もう遅い
- ・ 僕は、以前の自分と同じ状況の人を助けたい
- ・ 「確実に積み上がる仕事」をしないと「時間の切り売り」から一生逃れられない

【著者紹介】

片山真一（かたやましんいち）

片山真一事務所代表。サラリーマンにもかかわらずスピード出世を機にホームレスになる。中間管理職としてサービス残業200時間労働を続けるなかで、人間が人間らしく生きるために、経済的自由と時間的自由が必要だという考えに至り、副業で始めたブログが月間100アクセスを達成する。またその後新たに立ち上げたブログでも月間200万アクセスを超える。当初の目的であつた、経済的豊かさと時間のゆとりのある生活を実現。現在は大量アクセスの集まるブログの作り方を教えたり、企業や店舗のウェブ集客コンサルタントとして活躍中。プライベートでは、8年待たせた女性と結婚し、2人の子供に恵まれ、日々、家族との時間を満喫している。

- ・ メルマガ：https://shin12.info/cyfons/formadd/?group_id=6
- ・ ブログ：<https://shin12.info>